

大使館情報

2024年2月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（1月の出来事）

【内政】

- (1) 三権襲撃事件に関する1周年式典開催
- (2) レヴァンドフスキ元 STF 判事を法務・治安大臣に任命

【外交】

- (1) 伯パラグアイ首脳会談
- (2) 王毅中国外交部長の訪伯
- (3) 伯エクアドル首脳電話会談
- (4) 第一回ベネズエラ・ガイアナ外相・専門家合同委員会会合

3. トピックス

令和6年新年祝賀レセプションの開催（1月24日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（1月発表の経済指標）

- (ア) 11月の鉱工業生産は前月比+0.5%、前年同月比+1.3%となった。
- (イ) 11月の小売売上高は前月比+0.1%、前年同月比+2.2%となった。
- (ウ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.56%となった（前月：+0.28%）。2023年では+4.62%となった（2022年：+5.79%）
- (エ) 失業率（10～12月）は7.4%となり、3か月前（7～9月）の移動平均7.7%から0.3%ポイント低下。2023年では7.8%となり、前年（9.6%）から1.8%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、1月26日時点で、GDP成長率予測については、2024年は+1.60%（前週から変わらず）で、2025年は+2.00%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2024年は3.81%（前週から0.05%ポイント低下）で、2025年は3.50%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 1月29日、財務省は2023年における中央政府（連邦政府、社会保障、中央銀行）のプライマリーバランスは2,305億レアルの赤字となり、対GDP比▲2.12%となったと発表（2022年：464億レアルの黒字（対GDP比+0.5%））
- (イ) IMFは、1月30日、世界経済見通しの改定版を公表。ブラジルの実質GDP成長率について、2024年は前年比+1.7%、2025年は同+1.9%との見通しを示した。

(3) 金融政策

1月30日及び31日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて11.25%とすることが決定された。次回会合は3月19日及び20日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 1月の為替市場は4.85～4.97レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は4.85～4.92レアル/ドルで推移。内外の金融政策の見通しや経済の動向等を材料に上下し、概ね横ばいで推移した。
- (ウ) 月の後半は4.90～4.97レアル/ドルで推移。伯財政や海外の金融政策を巡る見通し等を材料に概ね下落傾向で推移した。12月の為替市場は4.83～4.96レアル/ドルで推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 1月の株式市場は126,602～132,834ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は130,649～132,834ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格

の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

- (ウ) 月の後半は 126,602~129,294 ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

(1) 1月8日三権襲撃事件に関する1周年式典開催

1月8日、連邦議会において、昨年1月8日に起きた三権襲撃から1周年を記念する式典が開催され、ルーラ大統領、アルキミン副大統領、ロベルト・バローゾ連邦最高裁判所（STF）判事、ロドリゴ・パシェコ上院議長、三軍（陸・海・空軍）の司令官等が出席し、マルガレッチ・メネーゼス文化大臣による国歌朗唱等のセレモニーが実施された。ルーラ大統領は演説を行い、「クーデターを計画し、資金を提供し、実行に移したものは全員、法律に則って模範的に罰せられるべきである。彼らに恩赦を与えることはない」と述べた。

(2) レヴァンドフスキ元 STF 判事を法務・治安大臣に任命

1月22日、法務・治安大臣の交代が発表され、フラヴィオ・ディーノ前大臣に代わり、リカルド・レヴァンドフスキ新大臣が指命された（2月1日就任）。レヴァンドフスキ新大臣は、就任後、犯罪組織の撲滅を優先課題の一つとして掲げることを表明。

【外交】

(1) 伯パラグアイ首脳会談

1月15日、ルーラ大統領は、ペニャ・パラグアイ大統領とブラジリアにて会談を実施。両首脳は、イタイプ二国間水力発電所で生産されるエネルギーの販売価格、両国間の統合橋事業、ラテンアメリカの時事問題であるグアテマラ選挙やエクアドルにおける暴力等について協議した。

(2) 王毅中国外交部長の訪伯

1月20日、ルーラ大統領は、王毅中国外交部長とフォルタレーザ市にて会談を実施。同外交部長は、習近平国家主席からの挨拶をルーラ大統領に伝達し、両者は両国関係の強化について一致した。また、ルーラ大統領は、「一つの中国」の存在を認めるという伯の立場を再確認した。伯大統領府の発表によると、王毅外交部長の訪伯目的は、11月のG20 リオデジャネイロ首脳会合付近で予定されている習近平国家主席の国賓訪伯準備及び伯中外交関係樹立50周年記念の一環とのこと。

(3) 伯エクアドル首脳電話会談

1月23日、ルーラ大統領は、ノボア・エクアドル大統領と電話会談を実施。ノボア大統領は、エクアドルの麻薬密売や組織犯罪との闘いに関する分析をルーラ大統領に述べた。両首脳は、南米諸国が組織犯罪との闘いに対し団結すべきであること、地域統合の強化が課題克服のための根本的な条件であることに同意した。

(4) 伯ベネズエラ首脳電話会談

12月9日、ルーラ大統領は、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と電話会談を実施した。ルーラ大統領は、マドゥーロ大統領にエセキボ地域の係争に対する南米諸国の高まる懸念を伝えた。また、ルーラ大統領は、同地域情勢がエスカレートするような一方的な措置を避けることが重要であると強調した。

(5) 第一回ベネズエラ・ガイアナ外相・専門家合同委員会会合

1月25日、第一回ベネズエラ・ガイアナ外相・専門家合同委員会会合がブラジリアにて実施され、トッド・ガイアナ外務・国際協力相とヒル・ベネズエラ外相が参加した。同会合には、ヴィエイラ伯外相が仲介兼進行役として参加した。同合同委員会は、両国間の対話と平和のため、12月14日にセントビンセント及びグレナディーン諸島にて採択されたアーガイル宣言によって設立された。ガイアナとベネズエラは、双方の相違を認識しつつ、アーガイル宣言によって決定された基準に基づいた対話を続けることを約束した。

3. トピックス

令和6年新年祝賀レセプションの開催（1月24日）

1月24日、在ブラジル日本国大使館は、令和6年新年祝賀レセプションを開催。日系社会関係者やブラジル政府、連邦区政府関係者など約280名の方々が出席し新しい年の始まりを祝った。

同新年会においては、林大使による新年挨拶や参加者による鏡割りが行われた。また、林大使が共著者となっている書籍”Densho, o Caminho do Sumi-e no Brasil”の出版記念式典を行い、共著者であるHiromi Takano氏及びMikhaela Kawahara氏と本の出版を祝い、最後に林大使が今年の干支である辰の絵を披露した。

会場には日本食に加え、上記の書籍のブース、日系人若手起業家コミュニティのREN Brasil や JICA の訪日研修スキームを照会するブースも並び、来場者には楽しい時間を過ごしていただいた。



新年の挨拶



鑑割り



“Densho, o Caminho do Sumi-e no Brasil”の共著者 Hiromi Takano 氏と Mikhaela Kawahara 氏と



大使による墨絵実演

4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第3四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2023年12月6日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジル連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

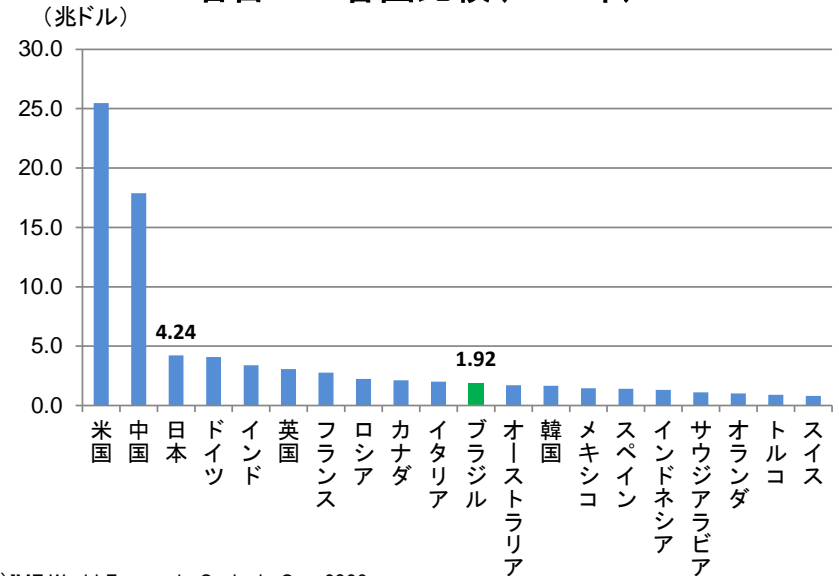
(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

名目GDP各国比較(2022年)



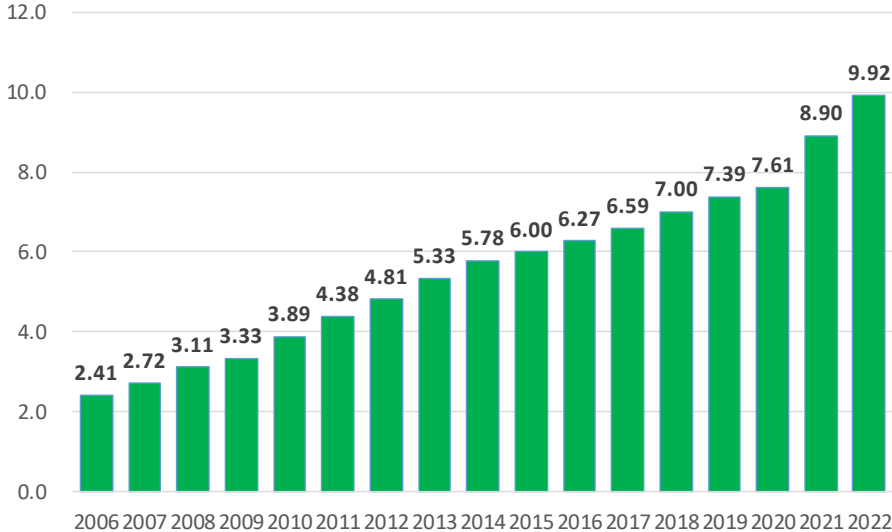
(出典)IMF World Economic Outlook, Oct, 2023

1. 経済構造

1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約9,455ドル(2022年))は、日本の約28%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

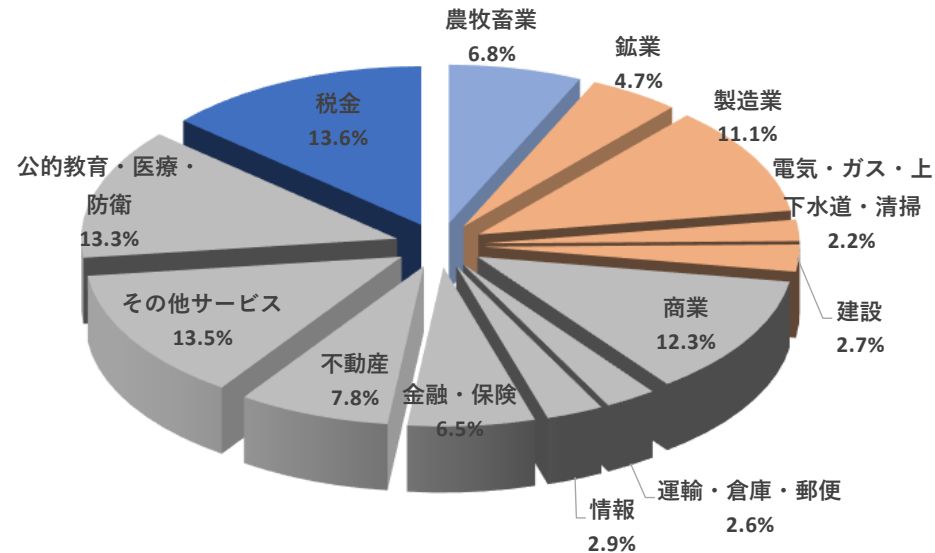
名目GDPの推移

(兆リアル)



(出典)伯地理統計院(IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2022年)

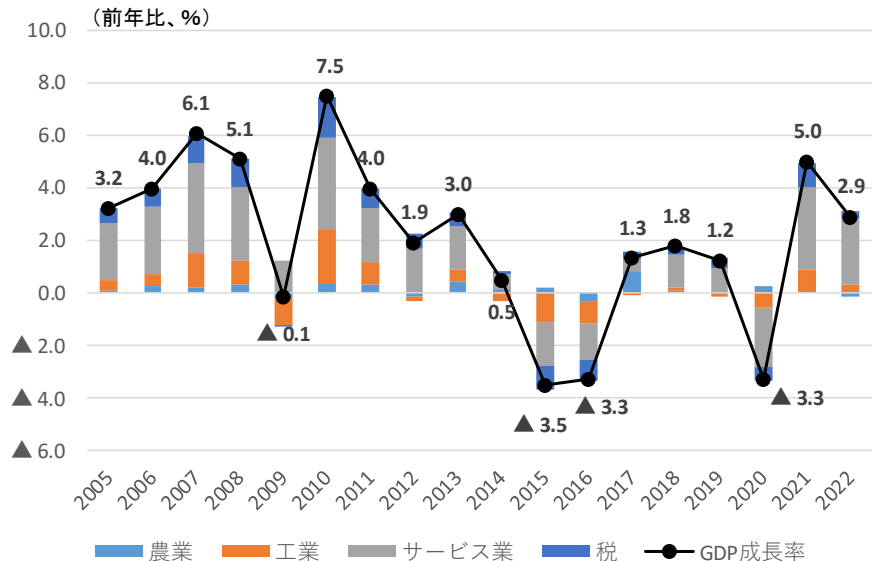


(出典)伯地理統計院(IBGE)

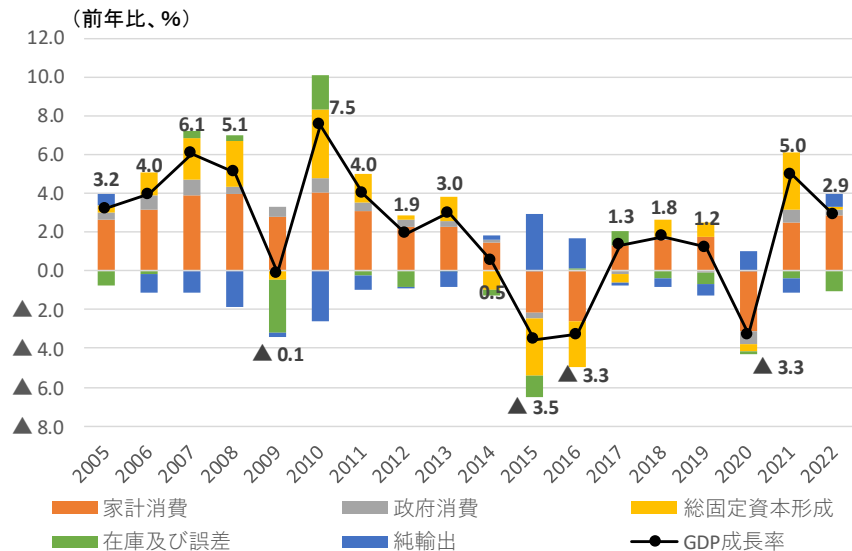
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が12月に発表した2023年第3四半期の実質GDP成長率は前期比+0.1%(3四半期連続のプラス)、前年同期比+2.0%(11四半期連続のプラス)となった。

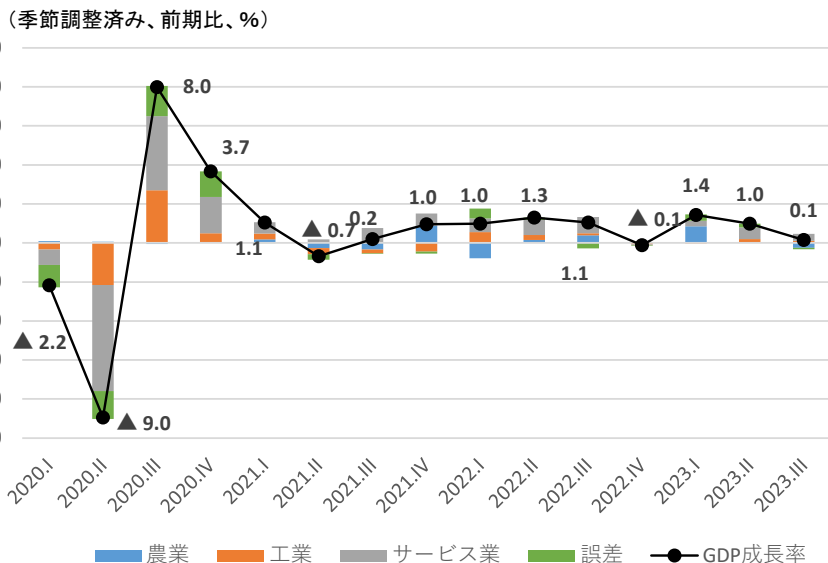
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



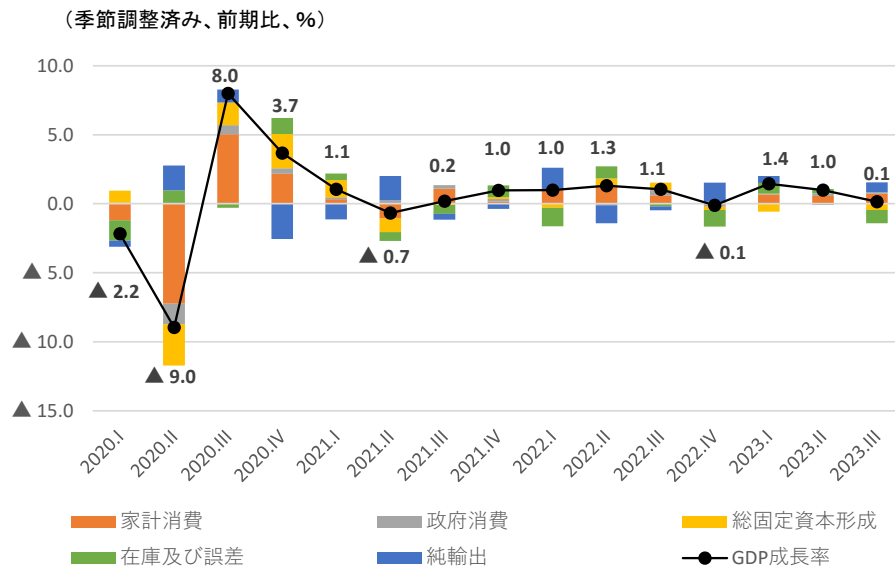
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



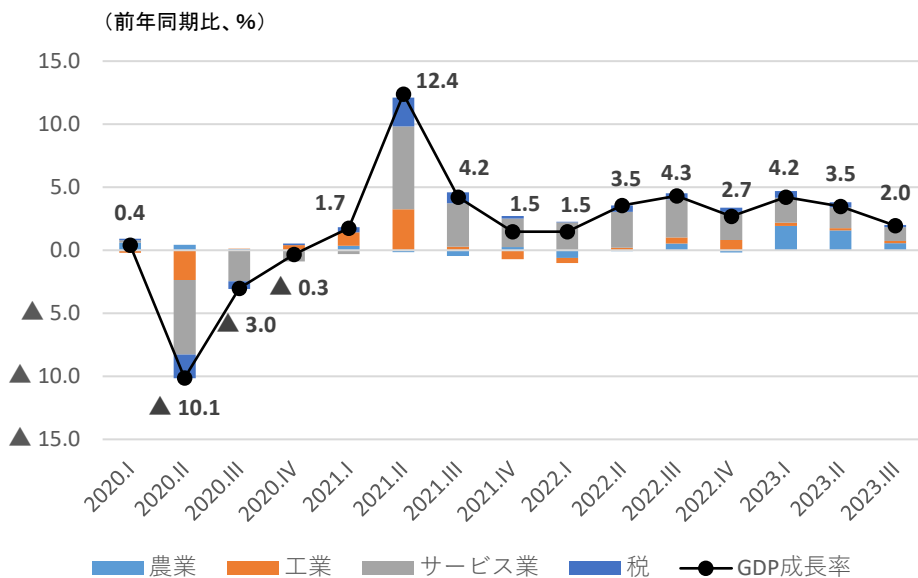
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



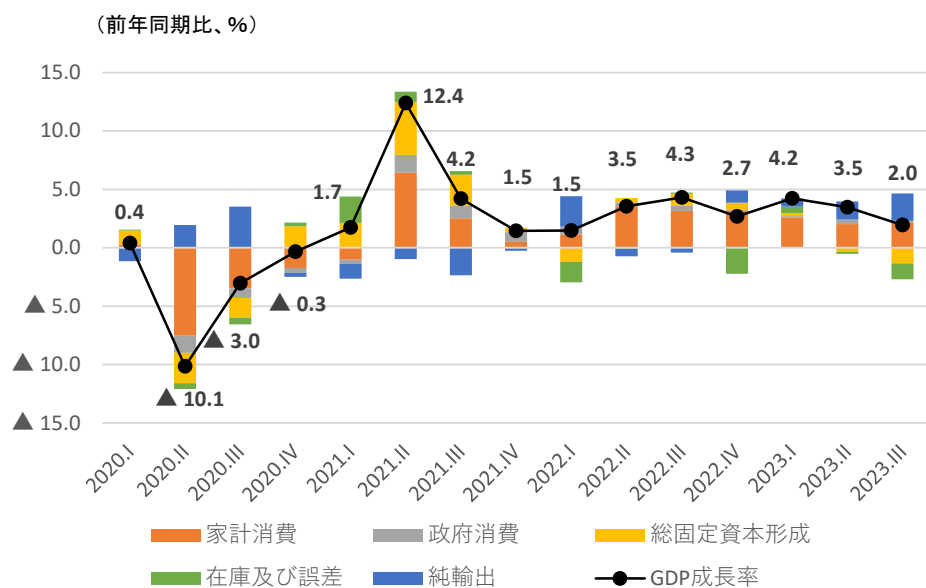
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

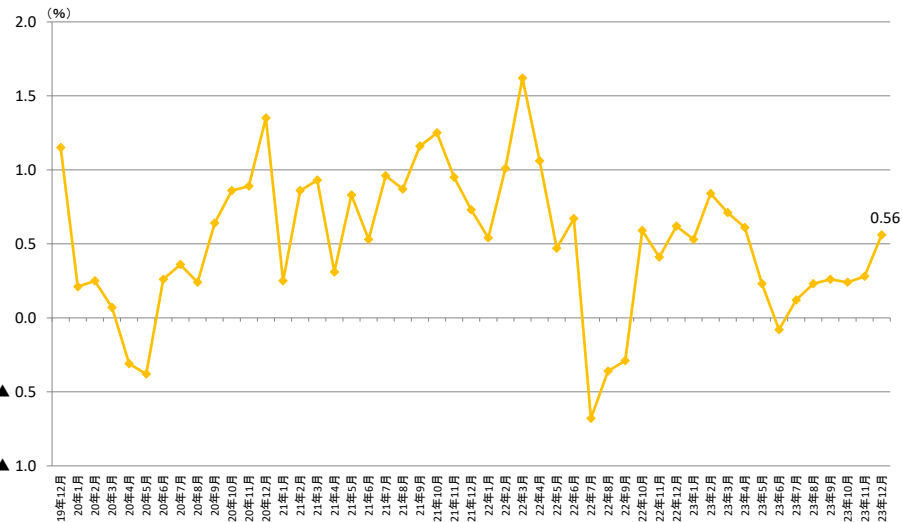
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2024	2025
IMF (2024年1月)	+1.7%	+1.9%
伯財務省 (2024年1月)	+2.2%	-
伯中銀 (2023年12月)	+1.7%	-
伯中銀Focus (2024年1月26日)	+1.60%	+2.00%

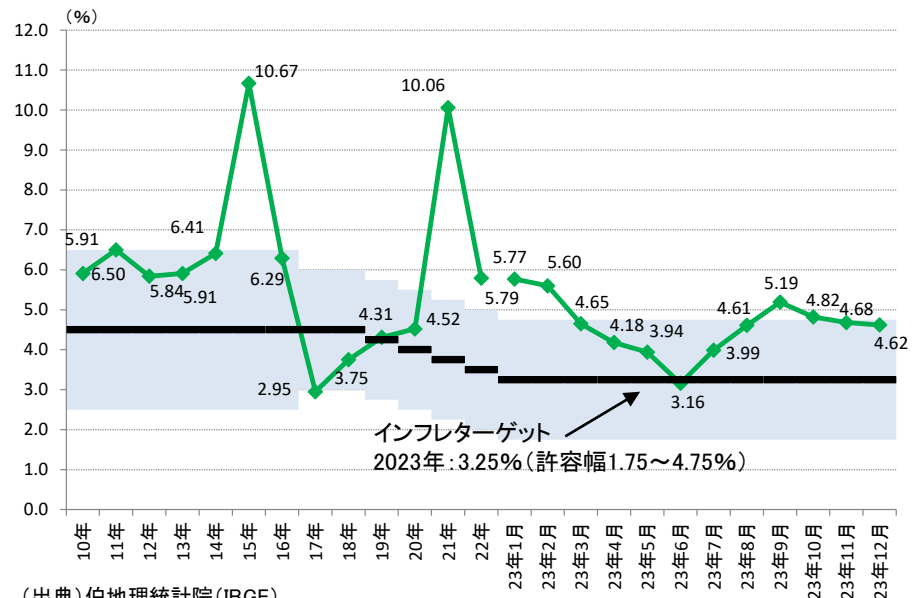
物価の動向と政策金利

12月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.56%、2023年では+4.62%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)

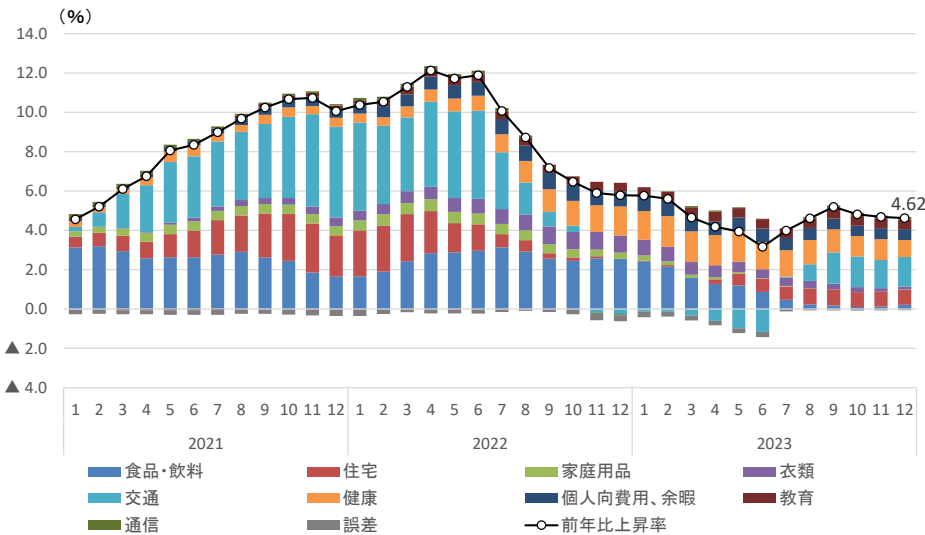


拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

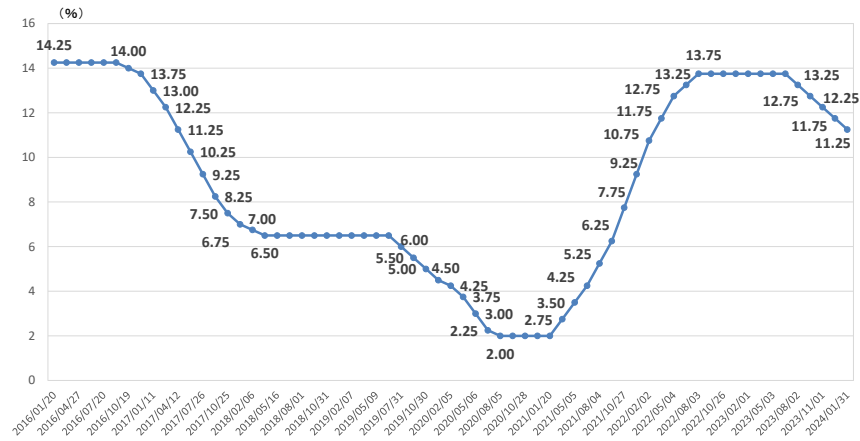
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利の推移(2016年~)

1月30日及び31日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて11.25%とすることが決定された。次回会合は3月19日及び20日に開催予定。

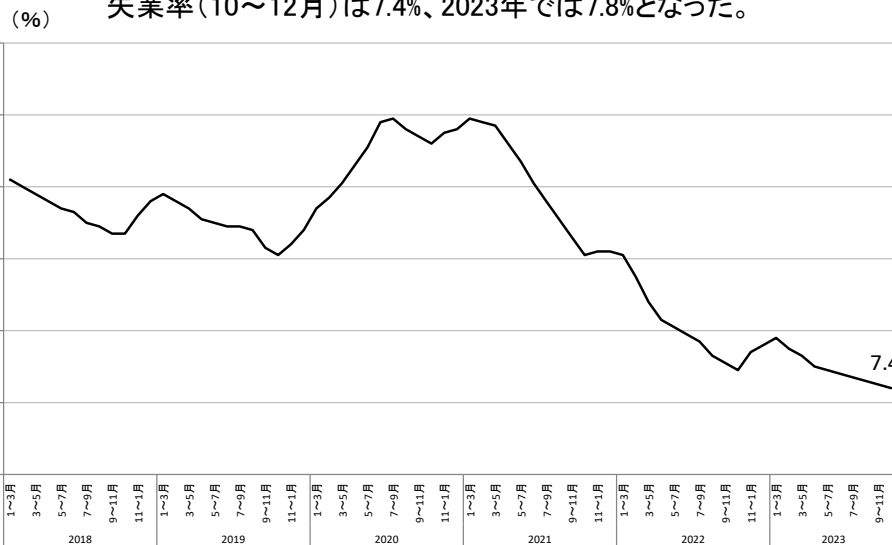


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

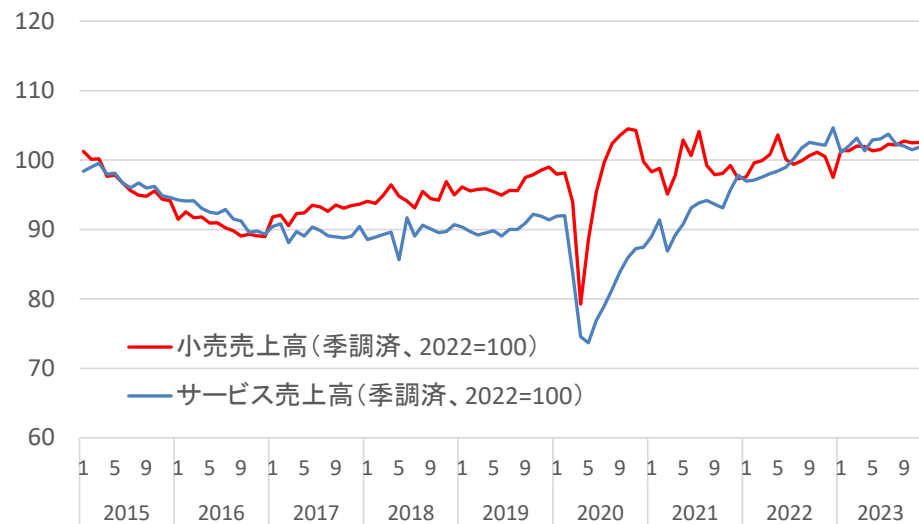
失業率(10~12月)は7.4%、2023年では7.8%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(11月)は前月比+0.1%、前年同月比+2.2%となった。サービス売上高(11月)は前月比+0.4%、前年同月比▲0.3%となった。

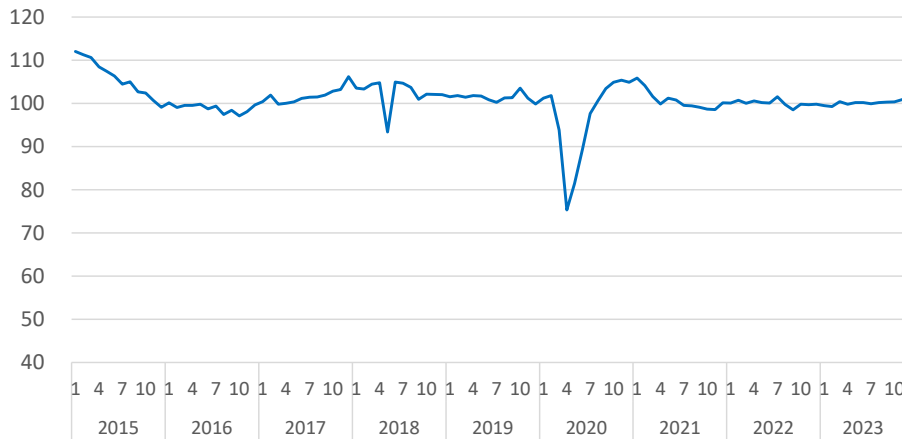


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(11月)は前月比+0.5%、前年同月比+1.3%となった。

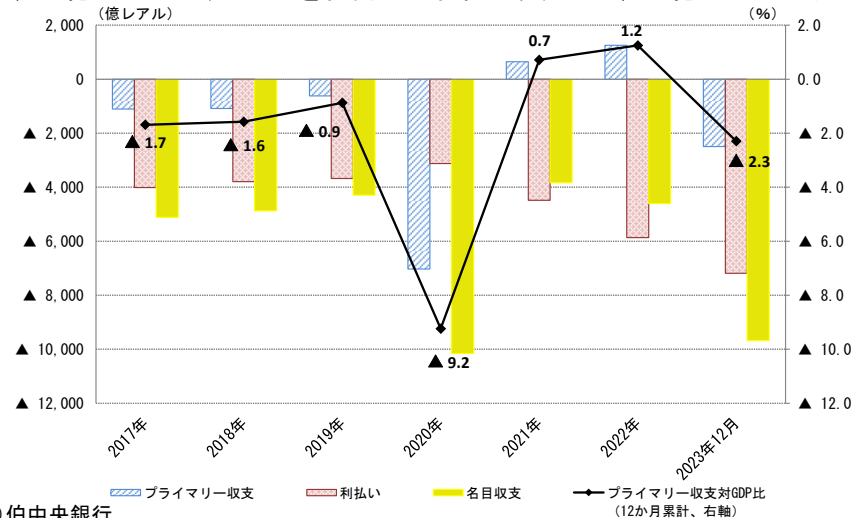
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2023年12月のプライマリー収支(税収等と政策的経費の収支)は▲2,491億レアルの赤字、利払い費は▲7,183億レアルで、これらを合計した名目収支は▲9,674億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

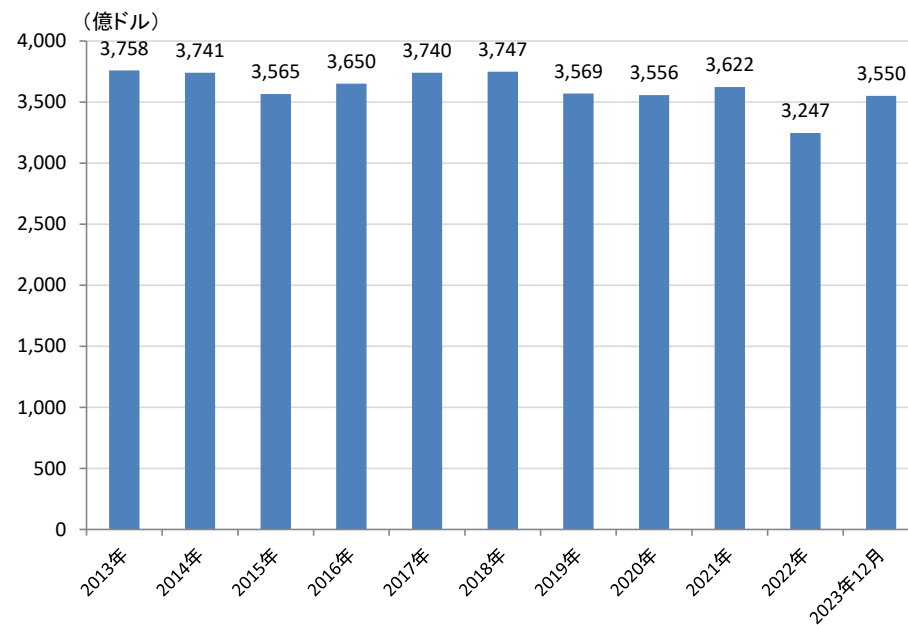
国際収支

(億ドル)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 12月
経常収支	▲ 548	▲ 680	▲ 282	▲ 464	▲ 483	▲ 286
貿易収支	434	265	324	364	442	805
サービス収支	▲ 393	▲ 385	▲ 247	▲ 270	▲ 396	▲ 376
第1次所得収支	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 565	▲ 724
第2次所得収支	▲ 0	12	23	32	37	9
資本移転収支	4	4	41	2	2	3
金融収支	▲ 558	▲ 673	▲ 163	▲ 502	▲ 468	▲ 309
直接投資	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 413	▲ 337
対外直接投資	20	228	▲ 35	162	334	283
対内直接投資	782	692	383	464	746	620
証券投資	69	192	129	▲ 79	29	▲ 75
金融派生商品	28	17	54	▲ 10	▲ 20	▲ 80
その他投資	79	▲ 158	214	▲ 251	9	▲ 32

(出典) 伯中央銀行

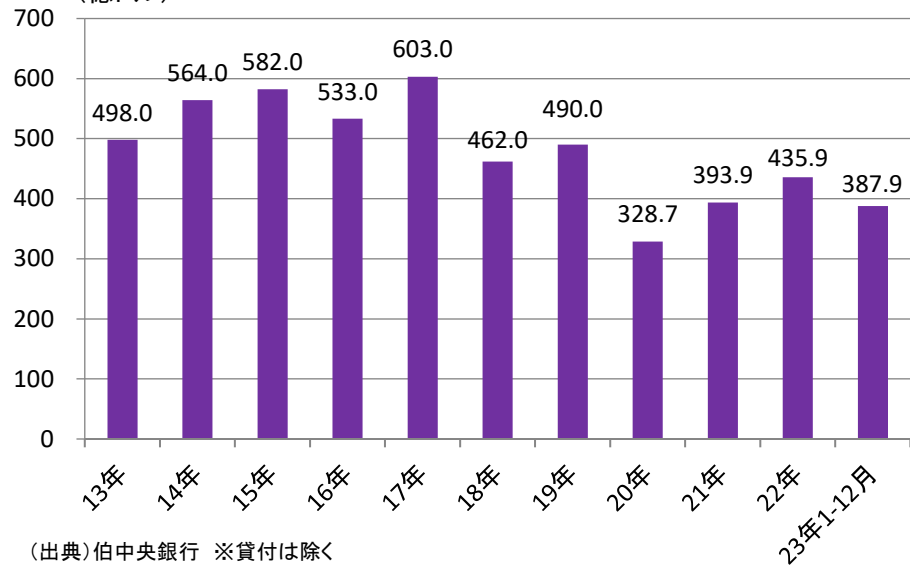
外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

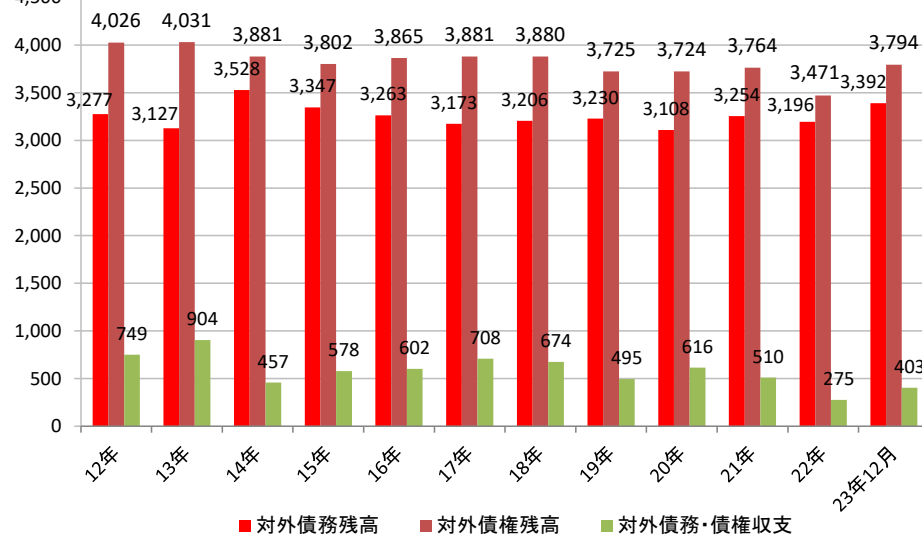
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

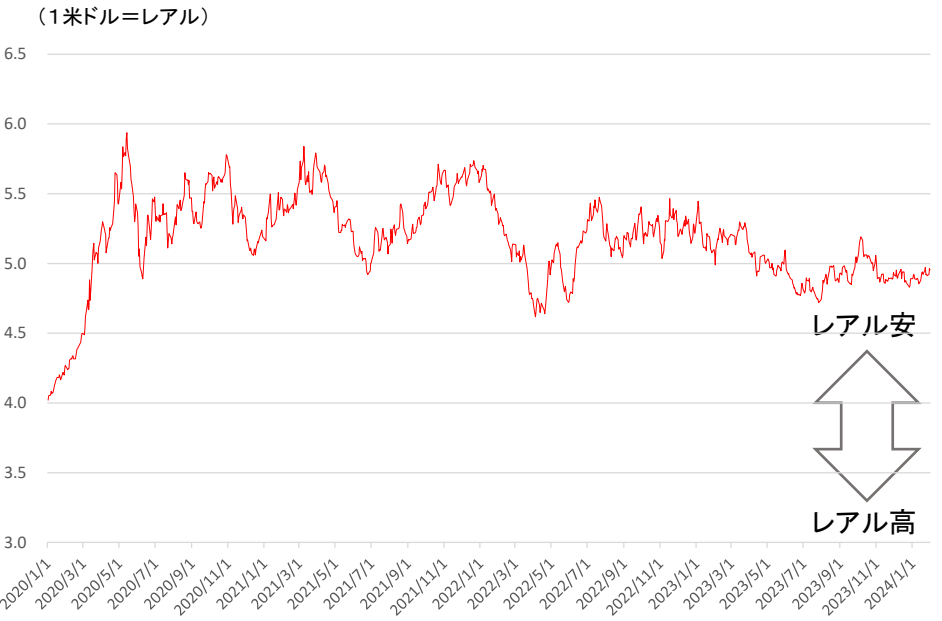
為替・株価の推移

1月の為替市場は4.85～4.97リアル/ドルで推移。

月の前半は4.85～4.92リアル/ドルで推移。内外の金融政策の見通しや経済の動向等を材料に上下し、概ね横ばいで推移した。

月の後半は4.90～4.97リアル/ドルで推移。伯財政や海外の金融政策を巡る見通し等を材料に概ね下落傾向で推移した。

為替の推移(対米ドル)



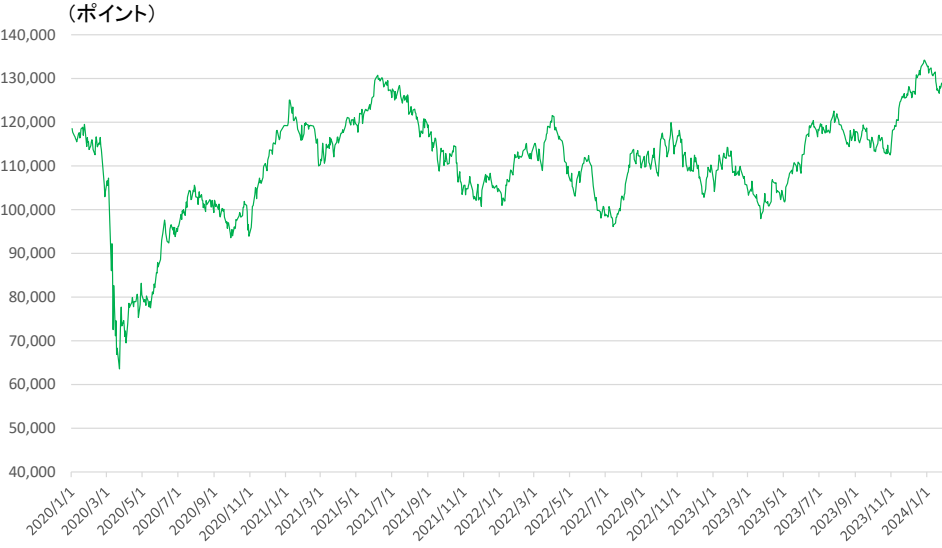
(出典) 伯中央銀行

1月の株式市場は126,602～132,834ポイントで推移。

月の前半は130,649～132,834ポイントで推移。海外の金融政策の見通しや資源価格の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

月の後半は126,602～129,294ポイントで推移。資源価格の動向や海外経済の動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



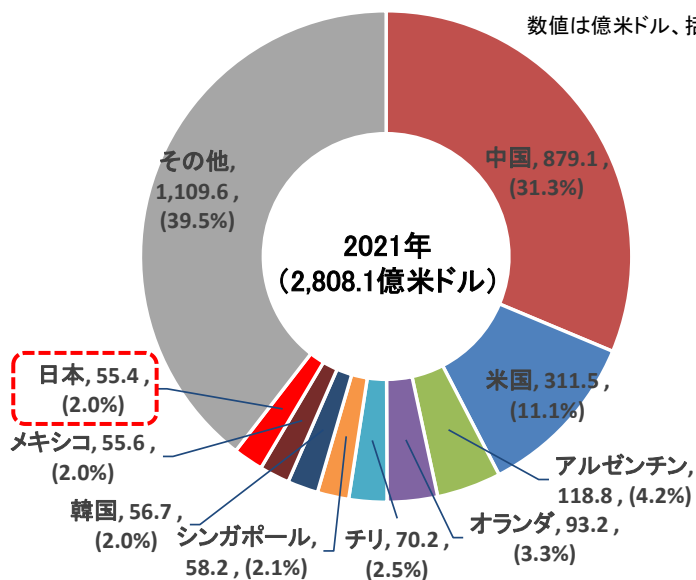
(出典) B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2022年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となっている。

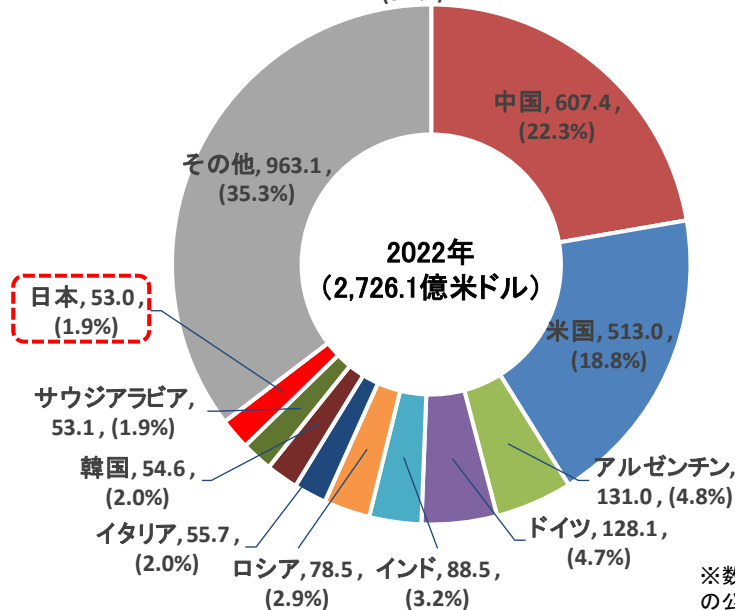
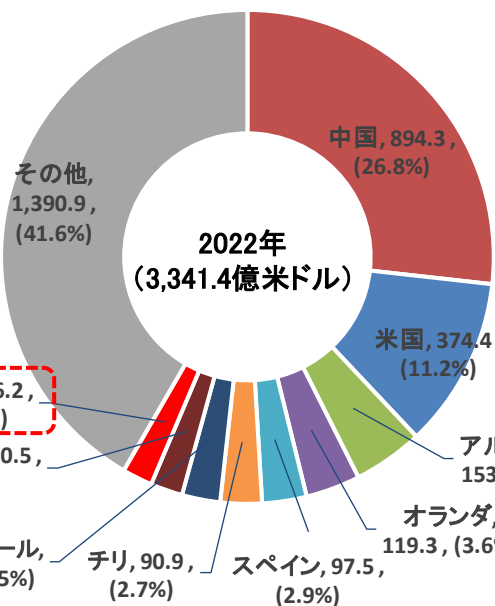
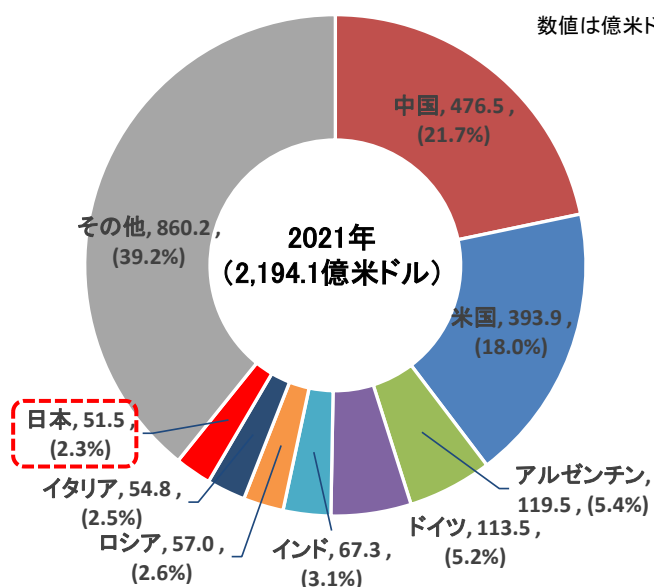
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



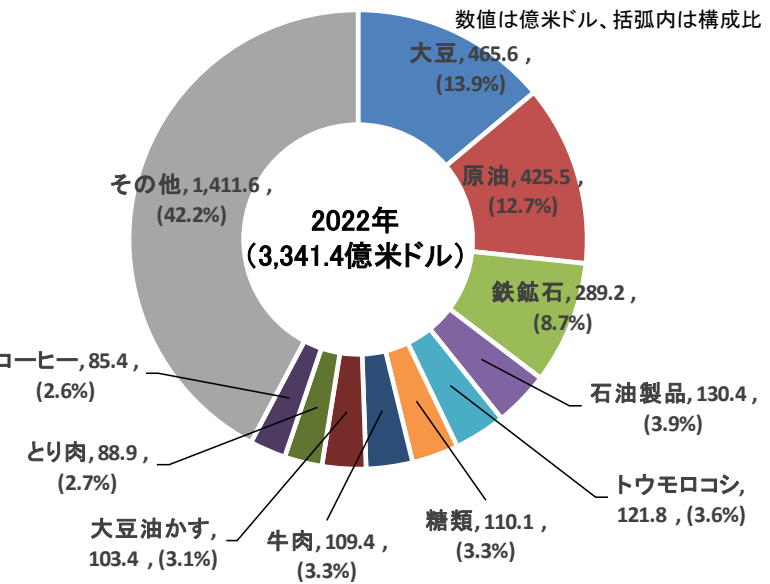
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車部分品を中心に、電気機器など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	465.6	100.0
① 中国	317.8	68.3
② スペイン	19.4	4.2
③ タイ	16.8	3.6
④ イラン	13.5	2.9
⑤ オランダ	11.3	2.4

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	425.5	100.0
① 中国	165.3	38.8
② 米国	50.6	11.9
③ スペイン	35.7	8.4
④ チリ	31.3	7.4
⑤ ポルトガル	25.3	5.9

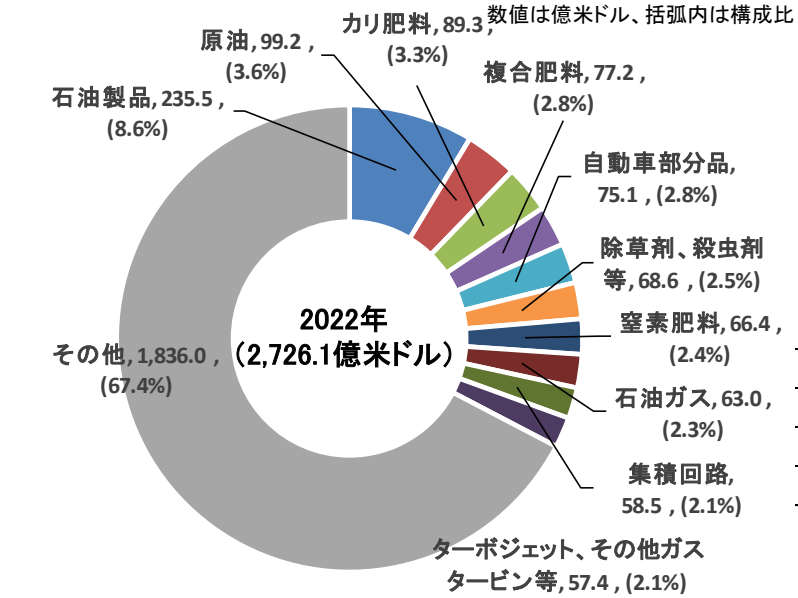
【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	289.2	100.0
① 中国	181.9	62.9
② マレーシア	15.2	5.3
③ バーレーン	13.3	4.6
④ 日本	11.0	3.8
⑤ 韓国	8.6	3.0

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	130.4	100.0
① シンガポール	58.6	44.9
② オランダ	8.8	6.8
③ 米国	4.9	3.8
④ ヴァージン諸島	4.8	3.7
⑤ パナマ	4.7	3.6

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	235.5	100.0
米国	127.9	54.3
インド	25.9	11.0
UAE	22.4	9.5
オランダ	11.7	5.0
ロシア	11.1	4.7

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	99.2	100.0
① サウジアラビア	32.0	32.3
② 米国	30.0	30.3
③ UAE	11.9	12.0
④ オランダ	5.8	5.9
⑤ ロシア	5.7	5.7

【カリ肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	90.7	100.0
① カナダ	37.1	40.9
② ロシア	24.3	26.8
③ イスラエル	8.7	9.6
④ ドイツ	8.4	9.3
⑤ ベラルーシ	3.6	4.0

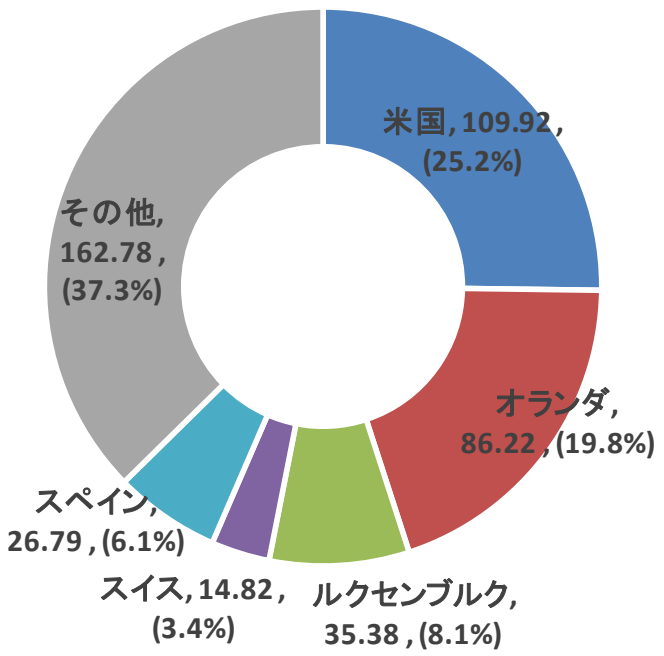
【複合肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	77.2	100.0
① ロシア	22.4	29.0
② 米国	14.8	19.2
③ モロッコ	13.3	17.2
④ 中国	8.0	10.3
⑤ サウジアラビア	7.2	9.3

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額435.9億ドル(2022年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



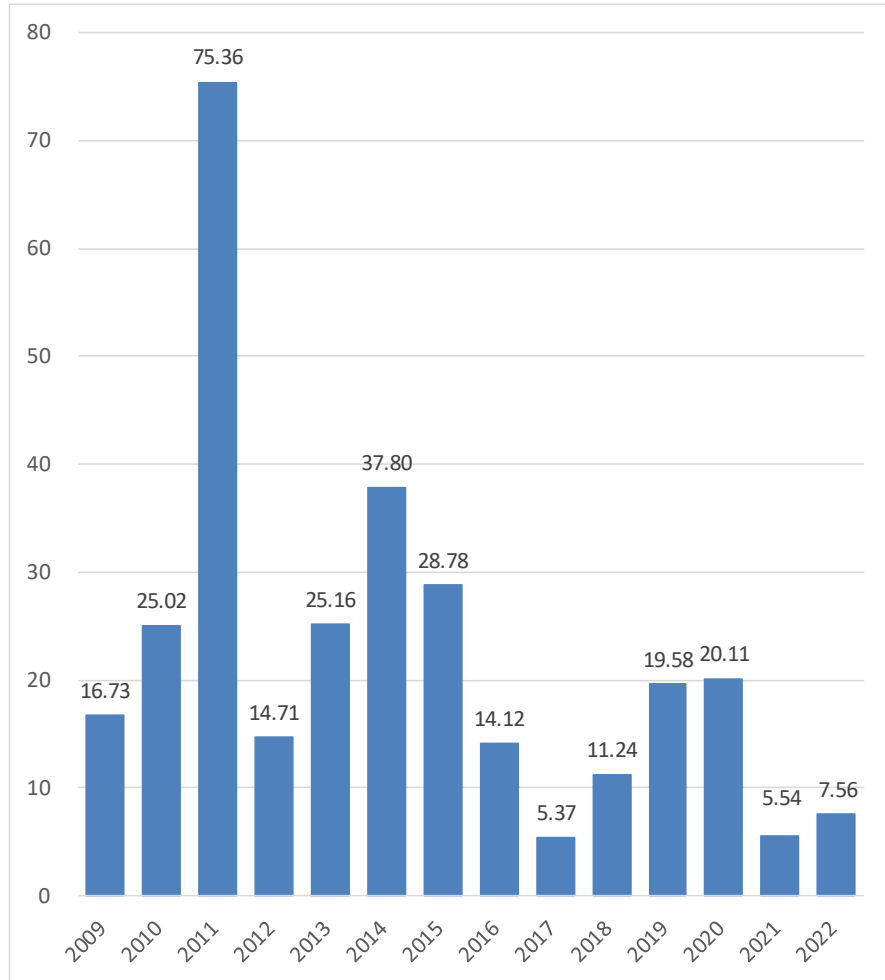
(出典) 伯中央銀行

2022年の日本の直接投資額(資本参加分)は7.56億ドルで構成比は1.73%と、10番目の規模。

※ 中国:0.35億ドル(0.08%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行